

コーディネーター：鈴木岳人人間科学部教授 第2回 (4/18)

Land conservation, ecosystem, and agriculture: 「日本の里山生態系の危機と未来」藤田 真 (日本自然保護協会) ・松谷明美 (人間科学部教授) / 第3回 (4/25)

高千穂大学
2026年度
総合科目・春

ミライを デザインする 私たちの LIVES

Labor: 「スキマバイトは、働く場所・柔軟性・キャリアの現在地」石橋孝宜 (Timee執行役員、スポーツワーク研究所所長) ・柴田徹平 (人間科学部教授) / 第4回 (5/2)

Literature: 「「物語」という視点から見た「モックター コンテンツ×地域創生の可能性」橋本竜 (株式会社エンバウト 前代表取締役) ・渡辺賢治人間科学部教授 / 第5回 (5/9)

Interculture and environment: 「数字のない世界を考える」吉村竜人間科学部准教授・竹内浄人間科学部教授 / 第6回 (5/16)

Interaction with people through Japanese sweets: 「和菓子は楽しい」吉村由依子 (亀屋良長株式会社取締役) ・吉原 真 (人間科学部教授) / 第7回 (5/23)

Visual cognition: 「AIが人間の認知をどう理解しているのか」新井健之 (人間科学部教授) / 第8回 (5/30)

Vitality and Sports: 新田涉世 (川崎新田ボクシングジム会長・第32代東洋太平洋バンタム級チャンピオン) ・新井健之人間科学部教授 / 第9回 (6/6)

Environment and intercultural understanding: 「自己物語から見た環境の変化と異文化理解」レオナルド・M・シノス (シノス大学) ・吉村竜人間科学部教授 / 第10回 (6/13)

Ethics: 「「哲学プラクティス」を通じて哲学がなぜ必要とされているのか」堀越耀介 (東京大学共生のための国際哲学研究センター上廣共生哲学講座特任研究員) ・小平健太人間科学部准教授 / 第11回 (6/20)

Social studies: 「SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」—SDGsを足下から実現する—」中村絵乃 (開発教育協会事務局長) ・鈴木隆弘 (人間科学部教授) / 第12回 (6/27)

Society: 「本当に意図的にSDGsを語る前に知るべきこと〜」原 真 (人間科学部教授) ・三津田悠人間科学部准教授 / 第13回 (7/4)

Science: 「社会と関わる自然科学—地震学の最前線—」加藤愛太郎 (東京大学地震研究所) ・鈴木岳人人間科学部教授

私たちの生活(LIVES)を豊かにするにはどうということなのか。
本学教員と各講師の多彩な専門分野のクロストークにより、
ミライの私たちの生き方を紐解く90分×13回のセッション。

2026年4月11日(土)～2026年7月18日(土)
※4月11日・7月18日を除く全13回を公開
毎週土曜日2時限目(午前10時40分～12時10分)

高千穂大学CS6号館2階タカチホホール
杉並区以外の方も参加できます。

※お住まい・通勤・通学エリアを問いません。

参加費無料

※1回のみ参加も可
100名(先着順にて随時受付)

後援：杉並区教育委員会

